

平成30年9月25日に高島屋は、都市型ショッピングセンター「日本橋高島屋ショッピングセンター」(新館)を開業した。専門店、飲食店などが入居する新館と百貨店である本館、先行開業した東館、さらにタカシマヤウオッチメゾンの計4館体制のSCとして、ファミリ層など幅広い客層の獲得を目指している。

日本橋地域は60社以上の東証一部上場企業本社が集まり、急ピッチで再開発が進んでいる。古い建物が取り壊され、コレド日本橋やコレド室町など新しい施設が出来上がっていく。かつては、土日や祝日などは閑散としていたが、今や家族連れや観光客などで賑わっている。さらに近隣にタワーマンションが多く建てられ、住民も激増している。中央区の人口は20年間で二倍の16万人に増えている。

三井不動産(株)は日本橋の再開発組合の一員として、重

日本橋高島屋 ショッピングセンターオープン!



要文化財高島屋日本橋店を含む一帯街区の再開発を推進している。その一環として「日本橋高島屋三井ビルディング」地上32階、地下5階、延床面積148,000㎡のオフィス・商業施設などで構成される大型複合施設として完成させた。

建物外装は日本橋高島屋と連続性を持たせたファサードデザインとし、統一感のある景観形成と歴史的なデザインとの融合を図った設計となっている。本館、新館、東館は2本の連絡ブリッジ及び地下道



一般社団法人
東靴協会
千代田区鍛冶町1-6-17
〒101-0044 ☎(3252) 5656
(11月号)

シューフィッターの皆様へ
住所・勤務先等変更が生じた時は必ず協会までご連絡をお願いします

でつながっている。本館と新館の間にある区道は地域の賑わいの核の創出に向け、歩行者専用道路となり、街路樹が植えられ、カフェテラスのある界隈性の高い空間として生まれている。



今回開業した新館は「日本橋高島屋三井ビル」の地下1階地上7階を占め、売場面積は約17,000㎡でテナント数は115店舗となっている。開発は、二子玉川の高島屋を中心に開発をしてきた東神開発が担当し、女性目線のプロデュースを重視している。地下1階は食料品フロアで成城石井、寿司の美登利、赤坂ちびすけ、パリヤなど15店舗でイートインも充実している。

1階は食料品・雑貨フロアで紀伊国屋アントレ、山本山、パンの365日など23店舗。2階は5階はファッションを中心に雑貨やスポーツ、カフェなどで構成されている。

靴の店舗は、米国のおしゃれなローファー中心のブランド「G.H.BASS」。日本で6店舗目となる、ファッションレザー・スニーカー中心の「PATRICK LABO 日本橋」。高級紳士靴を中心とした「山陽山長」が新店出している。

5階に直営店としてオープンした山陽山長の最大の特徴は、初めて修理工房を併設したことだ。店内で扱う高級ドレスシューズを、安心して長く履いてもらいたいという思いから、靴の販売からメンテナンスまで一本化したサービスを提供できる体制を整えた。



ゴム半貼り、ヒール交換といった部分修理が可能な機械を導入した。オールソール修

理は同店舗を経由して対応する。店舗中央には本革張りの机を設置し、シューケアや革小物のワークショップの開催も予定し、店を起点にユーザーとの交流の場としていく方針だ。

「靴まつり」抽選会開催

10月24日の理事会終了後、参加者の協力を得て、靴まつりの応募葉書の抽選会を開催した。今回の応募葉書の総数は4,674通、内訳は小売商連盟分が1,975通、協会専門店が1,496通、協会大型店が1,203通となった。昨年は総数5,811通だったのが、昨対比80.4%と減少した。

当選者数500名を応募数で按分、それぞれの抽選箱から選び出し決定した。



業界情報

ムーンスター初の旗艦店

「MOONSTAR Factory Ginza」が銀座にオープン

10月26日(金)にムーンスター145年の歴史上初の旗艦店「MOONSTAR Factory Ginza」が銀座にオープンした。子供から大人まで日本製を中心に「MOONSTAR ブランド」で展開する幅広いラインナップの商品を、新たな形で紹介・販売する。

又、商品の販売だけではなく、145年の歴史の中で培ってきた「MOONSTAR ブランド」のものづくりに触れ、足や靴に関する情報の発信拠点と位置づけ、様々な体験を提供していく。



店名の「Factory」には、ものづくりの原点を大切に、紡いできた歴史をお客様と共有することで新たな価値を生み出していきたいという思いを

込めている。会社が持つ「歴史に裏打ちされた技術力」と「伝統」を体感できる場として、伝統的な文化と情報の発信地・銀座から、モノ・コト双方の発信をしていく。

店舗概要は一階が、日本製中心の商品の展示・販売。また、ムーンスターの靴づくりに対する姿勢と一足一足に込めた思いを感じることが出来る場として、様々なイベントの開催も計画している。

二階は、経営理念である「すべての人々の「笑顔」「しあわせ」のために」を体現するため、ベビー・ジュニア・メンズ・ウイメンズの商品を幅広く展示・販売。また、独自の足型計測器「フットスキャン」などを用いたフィッティングサービスを提供するほか、店内に設置したタブレット等で注文を受け付け、希望の住所へ商品の配送も行う。

エービーシー・マートが

旗艦店を銀座にオープン

エービーシー・マートは、大都市圏に出店する大型店舗業態のグランドステージを、新たなコンセプトで刷新した旗艦店「ABC-MART GRAND STAGE GINZA」を10月5日リニューアルオープンした。

米国シアトルの設計事務所

callisonRTKL」と共同で、デザインしたハイグレードな内装の一階にはスニーカーを中心に旬な商品を揃え、二階には紳士ビジネスシューズや婦人パンプスを含めたレザースューズなども配置。ナイキ、アディダス、バンスなどを主力ブランドに、シリーズンフォールカス商品やブランドミックスのスタイル提案を行う。

三階はダナーやレッドウイングなどのブーツを中心に揃える「STUMP TOWN」を開設、修理等を行う工房も併設した。

11月9日には、より若者向けの商品構成の原宿店がオープン予定で、今後、2020年に向けて日本の主要都市に刷新した売り場をつくり、新しいプレゼンスの店舗で新しいカジュアルを提案していく方針だ。

ヨネックス 国内外顧客向け

ショールームを新橋にオープン

ヨネックスは、12月1日に国内外の顧客に向けた情報発信型ショールーム「YONEX TOKYO SHOWROOM」を港区新橋にオープンする。

同社のショールームは15年8月にオープンした秋葉原店に続き2店目。秋葉原店の約4倍の店舗面積(680㎡)

の広さに、「革新的な技術の追求」をコンセプトとしてデザインしている。

「見て」「手にして」「体感できる」ことを重視し、バドミントン、テニス、ゴルフ、スノーボード、ウォーキング、ラニングなど全カテゴリーの製品を揃えるほか、機能を体感できる実験什器、イベントの開催など様々なサービスを提供し、同社製品を身近に感じられる場としていく。

専門知識を持ったスタッフが製品選びをサポートし、海外からのお客様には国際色豊かなスタッフが英語、中国語をはじめ多言語で対応。アクセスも新橋駅から徒歩1分と便利な場所にあり、この店舗をグローバル情報発信拠点として、国内外に向けてヨネックスの魅力を伝えていく。

アシックス・ロボット活用の

自動生産システムを開発

アシックスは10月15日、シューズの新たな生産方法として、産業用ロボットによる自動生産システムを開発したと発表した。長年のシューズ開発、生産を通じて培った知見を基に、アシックススポーツ工学研究所で研究・設計したもので、基礎研究は2008年から開始していた。産業用ロボットについては、同業

界で世界をリードする安川電機製の機械を使用。

ロボット活用による生産システムは、主としてシューズのアッパーと靴底の貼り合わせ工程を自動化するもの。接着面のプラズマ加工、搬送、接着剤の塗布を行う。生産効率を人手と比較すると、2倍以上に高める期待ができる。

手作業によるパーツを縫い合わせたり、貼り合わせたりする工程が多く、すべてを自動化することは難しい。それでもこれにより工程中で3分の1程度の自動化が進む。

今後、段階的にロボット化をはかるとともに、人にしかできない価値の追求も進める。将来的にはAIやIoTを活用し、生産コストを下げ、量産と、顧客の要望に応じた仕様変更などを行う受注生産を融合した「マスカスタマイゼーション」の実現も視野に入れている。

親和会総会・新年会 参加者募集

日時：2月14日(木)・15日(金)
会場：箱根湯本「河鹿荘」

◎お土産付きです。

詳細は別途ご案内いたします。
是非ご参加ください。

とうくつ新聞バックナンバー

平成29年11月号から

平成30年10月号まで

今年も一年が経ち、バックナンバーを掲載する時期となりました。春の強風、夏は猛暑、豪雨と気候が不順な年でした。会員の皆様もこの一年を振り返って見ませんか。

○平成29年11月号(432号)

一面・銀座ヨシノヤ銀座6丁目本店グランドオープン(創業110周年記念の年に)。
「靴まつり」抽選会実施。

二面・業界情報、オギツ、ラオックス傘下。

世界の靴、生産と販売動向。新しい求人のかたち(インディード求人サイト)。

三面・本誌バックナンバー、平成28年11月号(421号)～29年10月号(431号)迄。

四〇・理事会・支部連絡会だより。都の中小企業景況調査アンケート。

スニーカー通勤、政府が提唱。親和会新年会参加者募集。

○平成30年1月号(433号)

一面・念頭所感(栗原茂会長)。
二面・業界情報(大手3社の決算、チヨダ、エービーシーマート、ジフット)。

三面・シューフィッター既得者勉強会開催(鈴木講師)。業界情報(オギツの現状、百貨店は今後も取引継続)。

四〇・理事会・支部連絡会だより。支部だより(世田谷支部・秋の親睦旅行実施)。

交通安全防止に靴に反射材を(警察庁交通局企画課より説明と協力要請)。

理事会・支部連絡会だより。都の中小企業景況調査アンケート。

○平成30年2月号(434号)

一面・靴小売商売上高ランキング上位50社売上高表。

二面・新年交礼会開催。支部だより(中央支部、新年懇親会開催)。

業界情報(ブーツが不振「履きやすさ重視の逆風」)。

三面・安易な「ウォーキング」があなたの老後を破壊する。業界情報(アマガサの新社長に永井秀樹氏が就任)。

オークラ(婦人靴製造販売)破産手続き開始。

四〇・理事会・支部連絡会だより。都の中小企業景況調査。

○平成30年3月号(435号)

一面・大塚製靴「東京工場」見学(2月27日・19名参加)高級靴工房に生まれ変わった東京工場)。

シューフィッター既得者勉強会開催(木内講師・13名参加「足型計測」ほか)。

二面・ロンドン・ミカムを視察して(栗原会長レポート)。

三面・親和会、新年懇親会開催(2月15日、箱根河鹿荘13名参加し開催)。日中の新たな連携に期待。

NHK「超絶凄ワザ」に日新ゴム開発のソール紹介。

四〇・理事会だより、大手3社直近3か月推移。ほか。

○平成30年4月号(436号)

一面・二面・2018年秋冬のファッションの傾向(アジアリング株)。

三面・大塚製靴(株)東京工場を見学して、(株)ワシントン靴店営業第二部・佐藤純氏、同営業一部・宮沢信和氏よりの見学レポート。

四〇・支部だより(新宿支部3月17日に総会開催)。

第85回靴の記念日式典挙行。大手3社の売上推移他。

○平成30年5月号(437号)

一面・スポーツ庁へスニーカー通勤について要望書提出。

二面・大塚製靴工場見学、参加者のアンケート結果。

業界情報(婦人靴卸のスガヌマが破産手続き開始)。

三面・靴小売業の現状について(栗原会長)。

四〇・靴の記念日応募葉書抽選会。理事会だよりほか。

○平成30年6月号(438号)
一面・2018年・最近の動向。
二面・業界情報(東京ミッドタウン日比谷グランドオープン、日比谷の再開発)。

旗艦店オープン。日帰りバスの旅参加者募集。

三面・ルーズだけどポジティブな中国。「ラクチンで快適」の次は「簡単でベネリ」。

四〇・子供の足囲E以下が51%。理事会だより、ほか。

○平成30年7月号(439号)

一面・第六回・定時総会開催(二社)となつて6回目の総会、すべて原案通り承認。永年勤続者表彰。

二面・大手3社の決算。2月期決算、純利益で前期比プラスはABCのみ。

三面・業界情報(走れる革靴)。皮と革の生産・輸出入(革の輸出は中国が一位、輸入はブラジルが一位)。

中国の監視カメラ状況。

四〇・日本皮革産業連合会通常総会開催。日本靴連盟通常総会開催。理事会だより、大手3社の売上げ推移ほか。

○平成30年8月号(440号)

一面・日本皮革産業連合会会長岩崎幸次郎氏総会で活性化に向け発言(自由化をバネに、メイドインジャパンのもとで業界がつながる)。

二面・市場の女心をつかみ時代の風に乗る(東京都靴卸協同組合と東都製靴工業協同組合の講演会を(株)感性リサーチの黒川保子氏を招き「脳科学マーケティング」をテーマに開催)。

三面・上場企業の決算(リーガルコーポレーション、東

邦レマック、アマガサ)。

四〇・支部だより(中央支部「銀座らん月」で役員会開催。理事会だよりほか)。

○平成30年9月号(441号)

一面・夏期レクリエーション開催(マホロバマインズと横須賀記念艦みかさ見学の旅、29名参加)。

シューフィッター既得者勉強会(小堤幸雄講師、28名)。

二面・三面・2019年春夏のファッションの傾向(アジアリング株)。

四〇・業界情報、ロコンドが三鈴商事支援。マルチウ産業株式会社が民事再生法の適用を申請。中小企業月の景況調査。理事会だより。

○平成30年10月号(442号)

一面・ロンドン・ミラノ・ミカムを視察して(何処もスニーカーが目立ち消費不振を感じた・栗原会長)。

二面・業界情報、3Dプリンター関連記事2つ(カスタマイズミッドソールを製造体験、3Dのミリメーターが有楽町にショップを開店)。

三面・女性の足の悩みに関する意識調査報告。

経産省製造産業局生活製品課に杉浦宏美氏が就任。

四〇・支部だより(中央支部第67回総会開催)。

靴専門店大手3社の直近3か月売上げ推移。

理事会だよりほか。

理事会・支部連絡会 だより

平成三十年十月二十四日(水)
午後二時 西村記念ホール

出席者23名

松戸副会長の司会で開会。栗原会長が「神戸の春夏物の展示会へ行きました。あまり変化はない印象だった。その際に大阪駅周辺を見たが、残念なことに靴店が減少していて、婦人靴の回復には、まだ時間が必要なのかなと感じた。情報によるとスニーカーのナショナルブランドが販売店を精査していて、取引にはある程度の売り上げが必要になってくるようだ。銀座にムーンスターの旗艦店舗ができ、本日披露会へ行ってきた。参考になる店舗なので、一度ご覧下さい。」と挨拶し、議事に移った。

一、「靴まつり」の応募結果

田中催事広報委員より報告。9月末で締め切った靴まつりについて詳細な報告をした。この後、抽選会を行い当選者500名を決定するため皆さんの協力をお願いした。(一面参照)

二、シューフィッター養成講座

について

佐宗専務理事より、FHAに委託して行っている講座は来年1月23～25日に両国の

ファッションセンターで開催される。希望者はぜひ受講するように要請した。

三、親和会総会予定について

松戸副会長より、来年2月に予定している日程について、理事会等の関係もあり場内に諮り、検討。結果2月14～15日に箱根湯本「河鹿荘」で開催することとなった。

四、上期の事業会計報告

について

田中事務局員より報告。配布されている上期(4月～9月)の事業報告書の説明が詳細に行われ、それに伴う会計報告書(各事業の正味財産増減計算書・同総括表)の詳細な説明があり、異議なく承認された。

五、シューフィッター

既得者勉強会について

佐宗専務理事より、SF既得者勉強会が12月13日(木)午前10時より「身に着けよう足型計測の実務」と題し、講師に木内二郎氏が担当して行われる。既に説明の通り今回は最後の勉強会となる。今後はテキスト等で対応していくことになる。

☆情報交換会開催☆

今回の情報交換会は
12月19日(水)3時頃より
飲み物・つまみ等を
準備します！
ぜひご参加いただき、
皆様の声をお聞かせ下さい。



1 世田谷支部

世田谷支部(田中省一支部長)は毎年恒例の秋の親睦旅行を10月18・19日(一泊二日)で行い、6名が参加した。

今回は会員の紹介で、富山県の「桜ヶ池アクアガーデン」に宿泊し、富山・金沢方面の旅となった。この施設は会員の友人が勤務、旅行の計画から当日二日間の行程をホテルの車両で案内して頂いた。一行は朝7時に新宿駅に集合し東京駅へ。新高岡駅までは北陸新幹線「はくたか」で向かい、駅からは友人の案内で旅がスタートした。

道の駅「ひみ番屋街」を散策し、昼食は「千魚萬菜Fama」。北陸の美味しいものを、富山湾に面した道路沿いの地元ならではの隠れ料理屋で至福の時間を体験した。



続いてタイムスリップしたかのような五箇山地区の菅沼合掌造りを見学し、ホテルへチェックイン。

施設も整備され部屋もゆつたりとして、日々の雑踏を忘れるひと時となった。

翌日も彼の案内で、「千里浜・なぎさドライブウェイ」で砂浜を車で快走。金沢では「箔」で金箔体験、一同真剣に取り組んでいた。昼食はここでも地元ならではの本場のすし店。続いて「ひがし茶屋街」「近江町市場」と見学し、金沢駅へ。駅構内の「あん」としてお土産を選び、午後3時55分発「かがやき」に乗りし帰路に就いた。

会員計報

川口 武氏
川口靴店 麹町支部
平成30年7月享年89

東京都中小企業景況調査(9月)

業況：やや悪化
見通し：4か月連続上昇

卸売業			業 況					
対象数	回答数	回答率	9 月		今後3か月間 見 通 し (当月比)			
875	360	41.1%	悪い	良い	悪い	良い		
			-100	0	100	-100	0	100
衣料・身の回り品	1. 男 子 服							
	2. 婦 人 ・ 子 供 服							
	3. 靴 ・ 履 物							
	4. かばん・袋物							
	5. 装身具・身の回り品							

小売業			業 況					
対象数	回答数	回答率	9 月			今後3か月間 見 通 し (当月比)		
875	276	31.5%	悪い	良い		悪い	良い	
			-100	0	100	-100	0	100
衣料・身の回り品	1. 呉服・服地・寝具							
	2. 男 子 服							○
	3. 婦 人 服							
	4. 子 供 服							
	5. 靴 ・ 履 物							
	6. かばん・袋物							
	7. 雑貨・身の回り品							
	8. 時 計・眼 鏡							
	9. ジュエリー製品							

社名		8月	9月	10月
チヨダ	全社売上	-6.0	1.1	-13.4
	客数	-7.7	-2.2	-14.4
	客単価	1.8	3.3	1.1
	店舗数	1061	1062	1057
ABC マート	全社売上	3.4	7.7	-3.0
	客数	3.7	6.3	-2.8
	客単価	-0.3	1.3	-0.2
	店舗数	968	973	978
Gフット	全社売上	-3.3	-1.5	-14.3
	既存店	-4.0	-1.5	14.4
	店舗数	893	893	893

昨年より気温が高い影響で冬ものの構成の高い北日本で落ち込んだ。ブランドスニーカーや重点ブランド「フィラ」「フワラク」は好調。2店舗出店、7店舗閉店した(チヨダ)気温が高めで推移し季節商品が鈍化。行楽需要でスポーツ、キッズ、アパレルが好調。(ABCマート)

気温の影響で冬物、レイン、ケア用品は好調だったが、実績は昨年を大幅に下回った。(ジーフット)

靴専門店・大手三社の直近3か月売上推移